interPro

# インストール ガイド

## 1. 部品及び製品規格


部品リスト P01
電気規格 P01
安全注意事項 P01


## 2. ハードウェアの設置


設置の際の注意事項 P02
設置ステップ P03


## 3. Go Touchドライバインストール


GO Touchインストールステップ P05
GO Touchのインターフェース P06
1. 操作方法 P06
2.タッチエリアの設定 P06
3. 補正（調整） P07
4. 言語設定 P11
5. タッチ感度 P11
6. 設置環境チェック P11
レーザー調整ガイド P12


## 4. アプリ「Touch Painter」のインストール


Touch Painterインストールステップ P16
Touch Painterのインターフェース P17
Touch Painterツールバー P17
ツールバー機能説明 P18
マウス 右クリック機能 P19
ペン-消しゴム交換機能 P19



## 5. トラブルシューティング P20

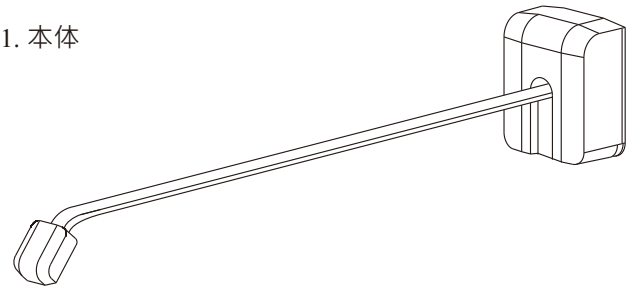

SEAN & STEPHEN CORPORATION

# 1. 部品及び製品規格

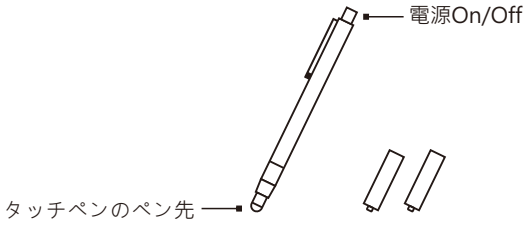
**購入された製品モデルによって、部品が異なる場合がございます。もしご質問がございましたら、購入された販売店にご確認頂きますようお願い申し上げます。**

## 部品リスト

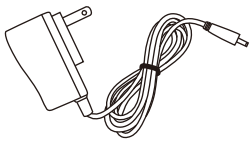
1. 本体



2. ライトペン (1.5Vアルカリバッテリー使用)

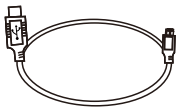



3.ACアダプター

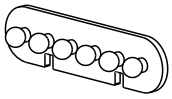


4. USB2.0延長ケーブル
(長さ約10メートル、
パソコン製品接続用ケーブル)

5. MicroUSB-USB2.0延長ケーブル
(InterPro本体とパソコンを接続
するケーブル)

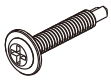


6. ケーブルクリップ



7.壁面固定用パネル

8.M4x20セルフタッピング
ネジ(スペーサー付き)



9. 6mmネジアンカー

10. USBメモリ

11. 取扱説明書

## 電気規格

| | | | |
|---|---|---|---|
| 製品サイズ | 10x8x56 cm | 投影面 | 適用サイズ 60-90インチ |
| ドライバ | GO Touch | 動作モード | タッチモード / ペンモード |
| 安全基準 | 米国FDA CLASS 1 | パワー | Input 100-240、Output 5V-2A |
| OS | Windows 7/8/10 | | |

## 安全注意事項

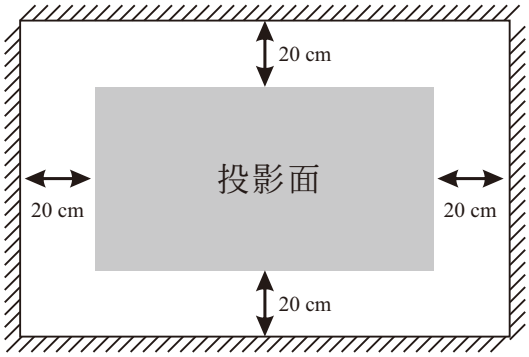
1. 使用する前に、必ず取扱説明書を読んでください。
2. レーザーが作動している際に、レーザーの光線を直接目視しないでください。
3. ひび及び亀裂が入り落下する危険がございますので、InterPro本体に他製品をぶらさげないでください。
4. 部品が損壊する恐れがございますので、カメラとレーザーの前に他製品を放置しないでください。

# 2. ハードウェアの設置

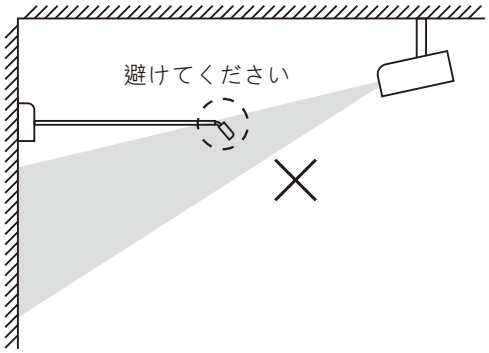
## 設置の際の注意事項

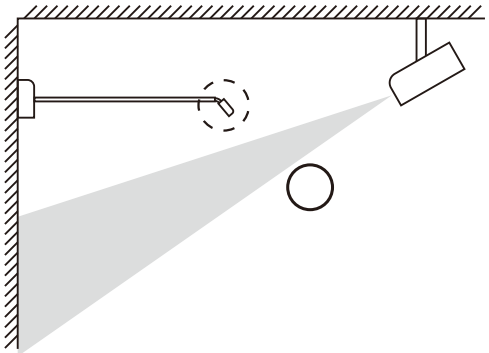
**下記のプロセスでInterProを設置してください。**
**InterProの重量は約283.5g、設置の際に設置面が平面であること、また設置面の材質をご確認頂き、最も適した方法にて設置してください。**

1. 使用の際に問題無く投影できますよう、投影面及び投影面の材質の選択について、下記事項にご注意ください。
   1.1 設置面の平面度は重要になります。障害物、凹凸面または突起物はないように確認してください。
   1.2 ガラス面、或いは高反射材質表面に直接使用することは避けてください。
   ( ガラス表面にホワイトボードフィルムを貼り付けた場合は使用可能になります ) 。
   1.3 濃い色の壁面及び光を吸収する材質を使用した壁面での使用は避けてください。
   1.4 屋外、直射日光が当たる場所を避けてください。
   1.5 投影面範囲内及び投影面周辺20cmの範囲内、突起物及び高反射可能な材質が有る場合、本製品の使用に影響がでる可能性がございます。



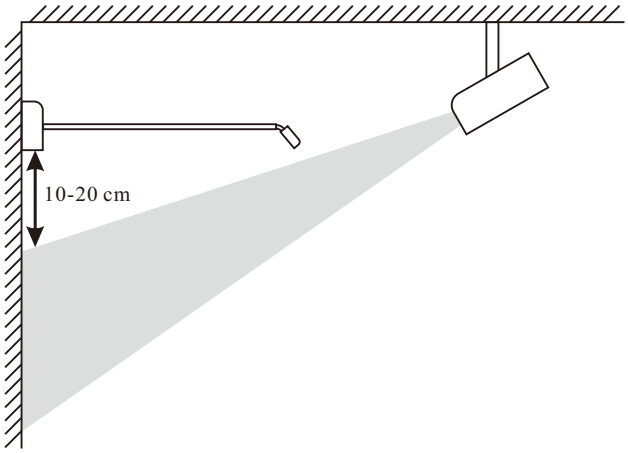

2. InterPro本体及び投影面につき、より良い使用環境のために、いくつかの注意事項があります。
   2-1 投影面について、投影専用ホワイトボード或いは平面度の高い壁面をお勧めします。
   投影面の適用サイズは60-90インチとなり、80インチ前後をご推奨します。
   2-2 プロジェクターとInterProの設置箇所を調整してください。
   InterProは様々な投影面を認識できることから、最適な投影位置を調整頂くことができます。
   2-3 最適なInterPro設置箇所は画面を投影したいスクリーンの上部約10cm-20cmに設置した場合が最適になります。5cm未満の場合、うまく作動できないケースがございます。



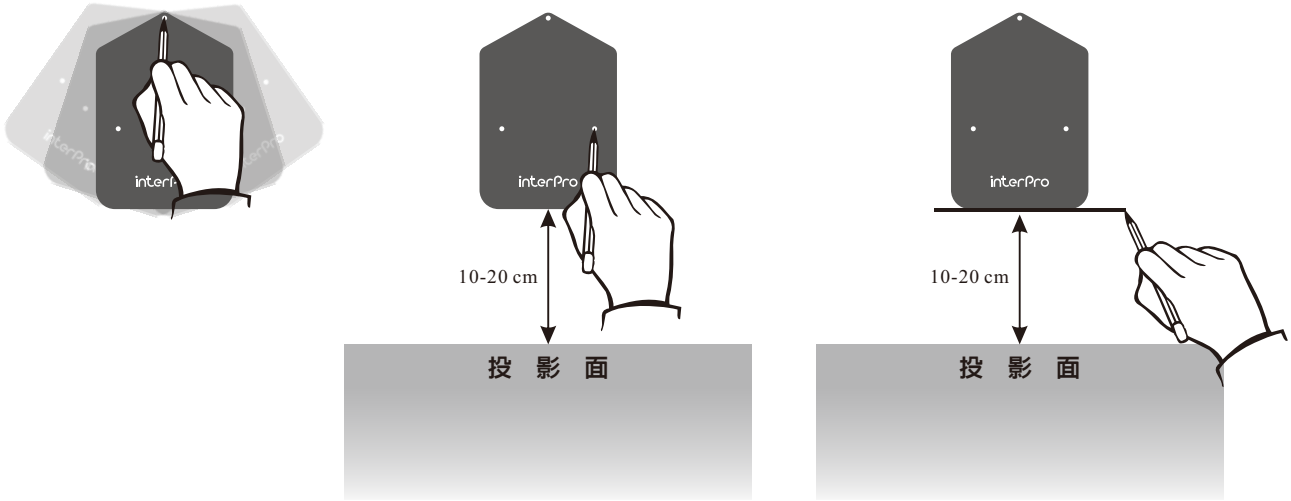



## 設置ステップ

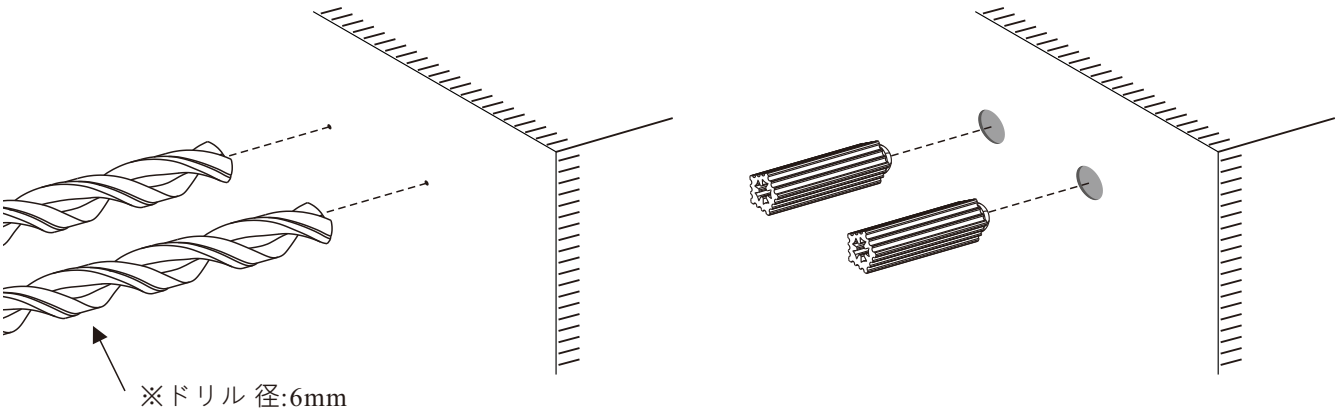
1. 投影スクリーン上部の空間を確認し、上部の10cm-20cmに設置してください。
   5cm未満の場合、うまく作動しないケースがございます。



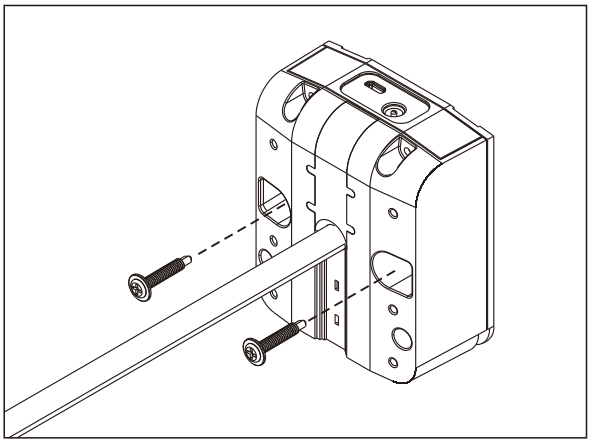

2. InterPro壁面固定用パネルを使用し、投影面中央上部にマークする。
(フルスクリーンモードでUSBの "Center.jpg"を利用し、投影面中央をマークしてください。)

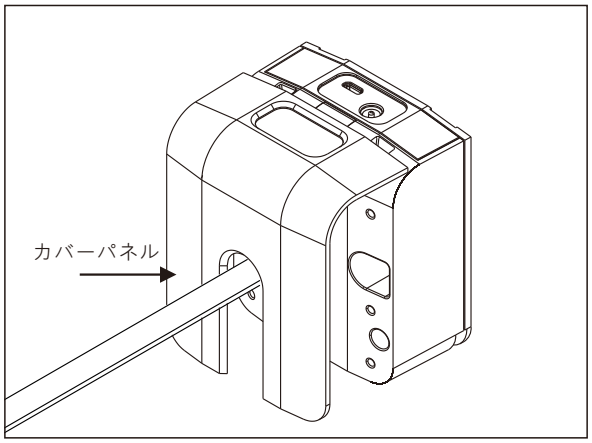



3. 固定する場所を確認し、穴を開けてネジアンカーを入れる。

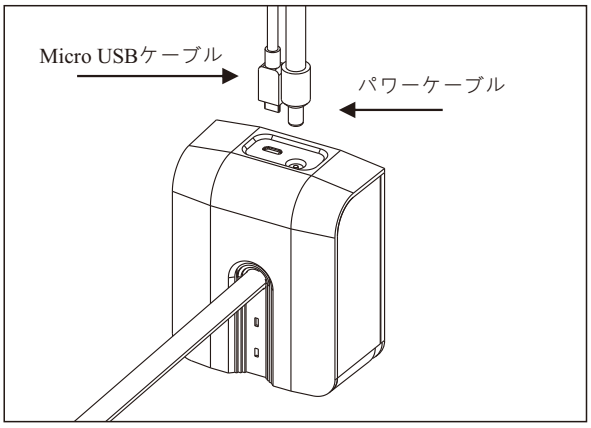


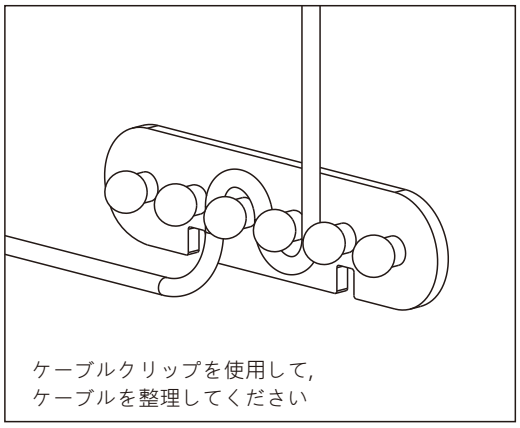
4. ネジ使用して、投影面中央の上部マークの部分にInterProを固定して、
カバーパネルを装着する。



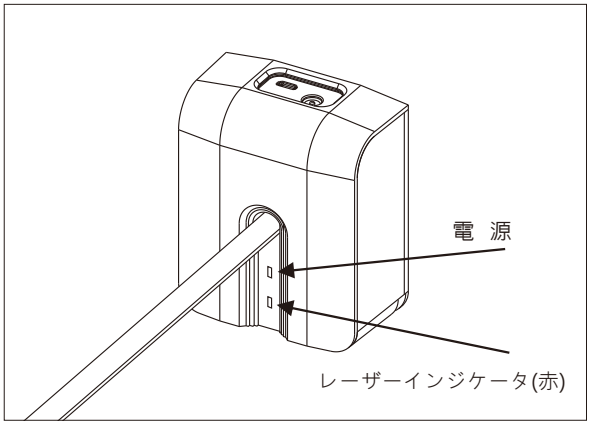



5. パワーケーブルとMicro USBケーブルを接続する。ケーブルがもつれないように注意
してください。




6. USBとパソコンを接続すると、InterProが作動します。下記事項にご注意ください。
6.1 電源インジケータ（青）点灯の時、製品作動状態となっています。
作動に影響の有る要因は何もありませんので、安全に使用可能です。
6.2 レーザーインジケータ(赤)点灯の時、InterPro下部のレーザー照射部位につきましては、
直接目視しないでください。



# 3. Go Touchドライバインストール

正常に動作することが可能なシステムの仕様をご確認ください。
**OS：Windows 7 (32bit/64bit) / 8 / 10 (Must be installed. NET Framework 4.0)**

プロセッサ：**Intel® Core™ i3** 以上

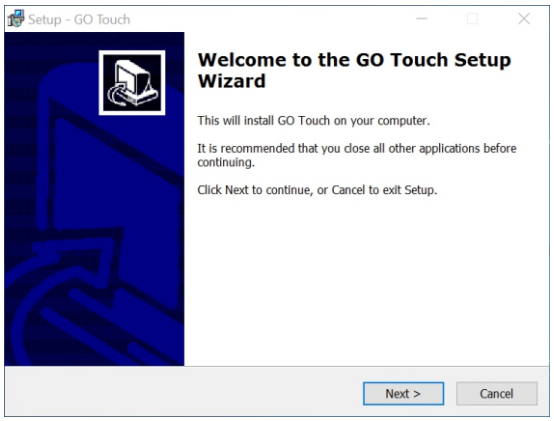
**RAM：4GB**以上

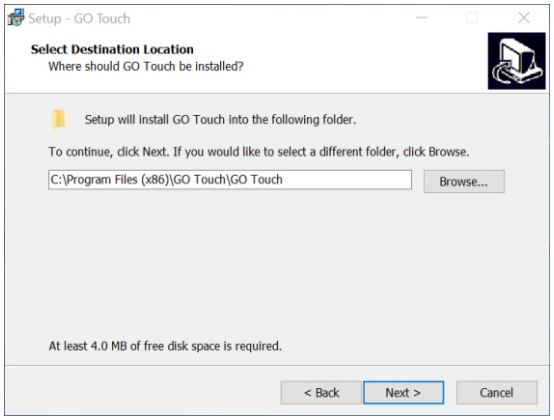
最小ハードディスク空き容量：**110MB**

適用投影サイズ：**60-90**インチ

## GO Touch インストールステップ

USBメモリを差込む。
1. GO Touch Setup.exeをクリックすると、下記画面が出る。その後、「Next」をクリックする。
2. インストールディレクトリを選択し、「Next」をクリックする。
3. インストール中、しばらくして全プロセスが終了。
   インストールが完了となります。



## GO Touch のインターフェース

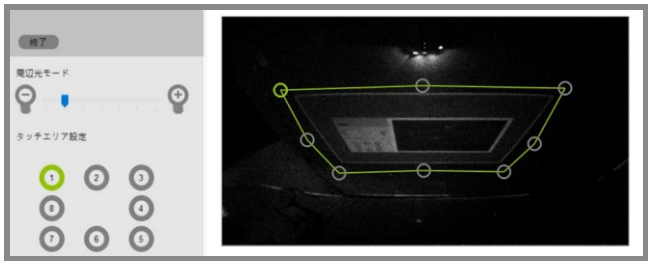
InterProとパソコンをUSB接続し、Go Touchをダブルクリックすると以下画面が現れます。

### 1. 操作方法

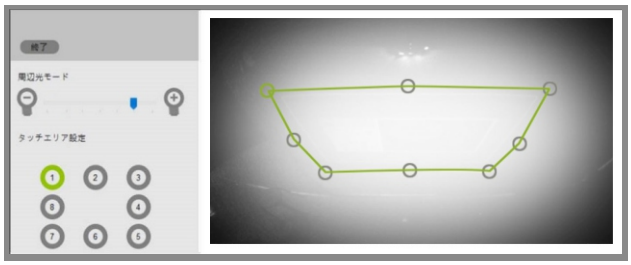
本製品の操作は「ペンモード(Pen mode)」及び「タッチモード(Touch mode)」の2つになります。
◎ライトペンを使用したい場合、ペンモードを選んでください。
◎指先で使用したい場合、タッチモードを選んでください。
このモードは赤外線レーザーが出ますので、使用上レーザー光線には特にご注意ください。
◎上記の2つの操作方法は使用中にも選択可能です。
使用環境をご確認頂き最適な操作方法を2つから選んで使用頂けます。

### 2. タッチエリアの設定

「タッチエリア」を選択する。
下記図面のように、緑ラインと投影面のエッジが重なるように合わせる。



図面と同じように調整してください。

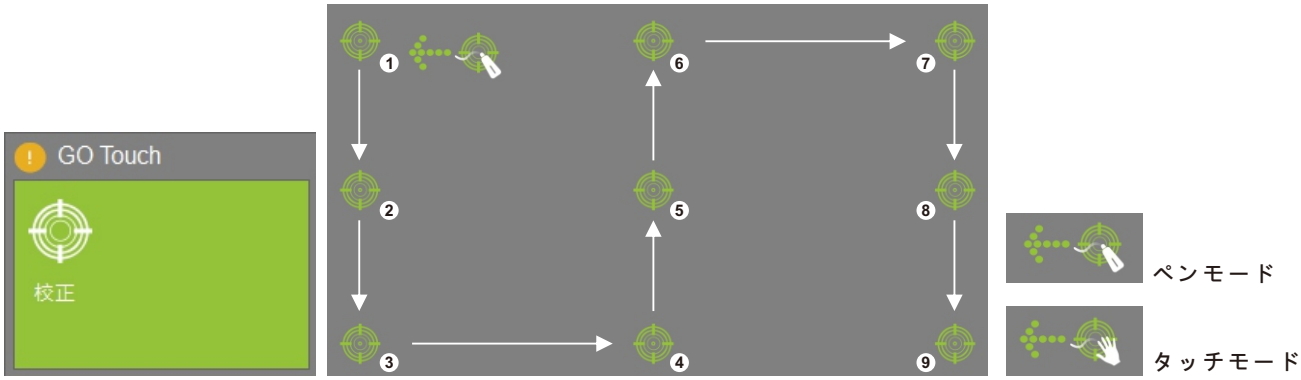


明る過ぎる場合、画面の明暗を調整してください。

◎光源環境により、画面の明暗につきましては「+」、「-」をクリック頂き調整可能です。
1. 画面左下部の「1」を選択し、緑ラインの範囲は投影面範囲より大きくなるよう、左上部の緑ラインを調整する。
2. 「1」から「8」まで上記と同じように調整して頂き、「緑ラインの範囲の全てが投影面の範囲より大きい」ことを確認願います。
3. 調整が終了したら、「結束(終了)」をクリックする。
4. 「設定完成」のコマンドプロンプトが出ると、タッチエリアの設定は完了。
補正へ進んでください。

## 3. 補正（調整）

タッチエリアの設定終ったら、「補正（調整）」を選んでから画面の詳細につき調整開始します。動作モードによって、ライトペンや指先で画面中心部の画面調整中心点をクリックします。
一つ点をクリックしたら、次の点が出る。合計9箇所の調整ポイントがあります。



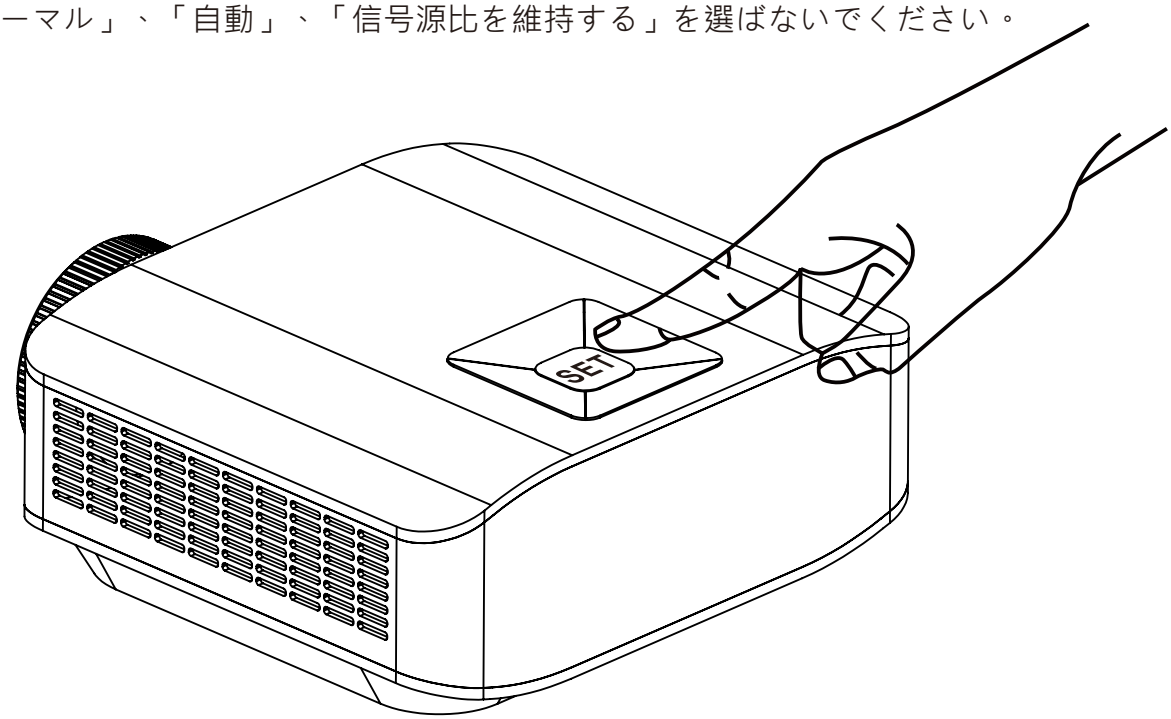

◎「ESC」をクリックしたら、画面調整プロセスは中止されます。
◎「UP」をクリックしたら、前の調整ポイントに戻ります。

1. 画面調整の際に、「ペンモード」にてライトペンを使用し画面調整した場合、より高精度な調整効果が得られます。
   ペンモードで画面調整後、タッチモードに切り替えてください。
2. 投影面の画面比率、設置箇所が以前と同じケースで、InterPro初回使用時に画面調整が終了している場合、GO Touchソフトがないパソコンでも使用可能になります。

## Windows 7/ 8/10 キャリブレーションについて

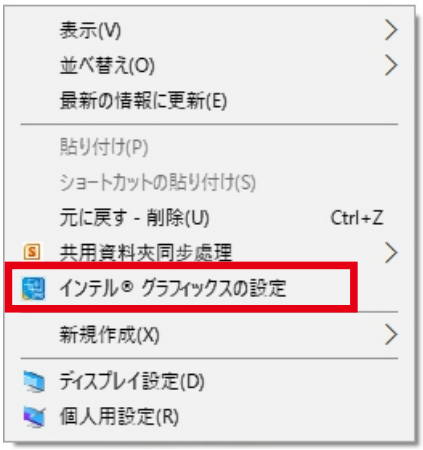
### 投影画面設定

キャリブレーションをうまく行うには、まずプロジェクターの設定を調整してください。
投影画面は「全画面のスケールにする」、「ワイド」、「フル」または「固定画面比率（16:9、16:10と4:3）」などを選択してください。
「ノーマル」、「自動」、「信号源比を維持する」を選ばないでください。

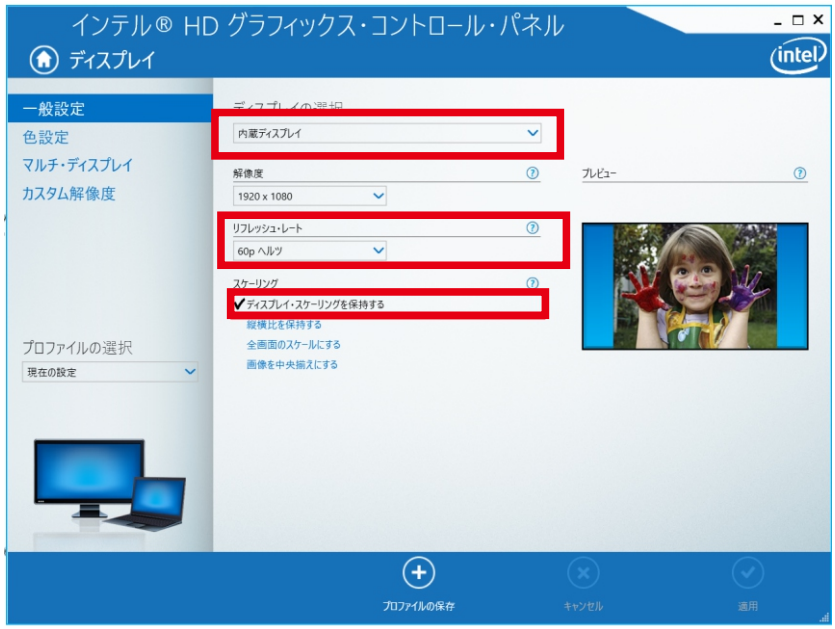


## ● キャリブレーションについて

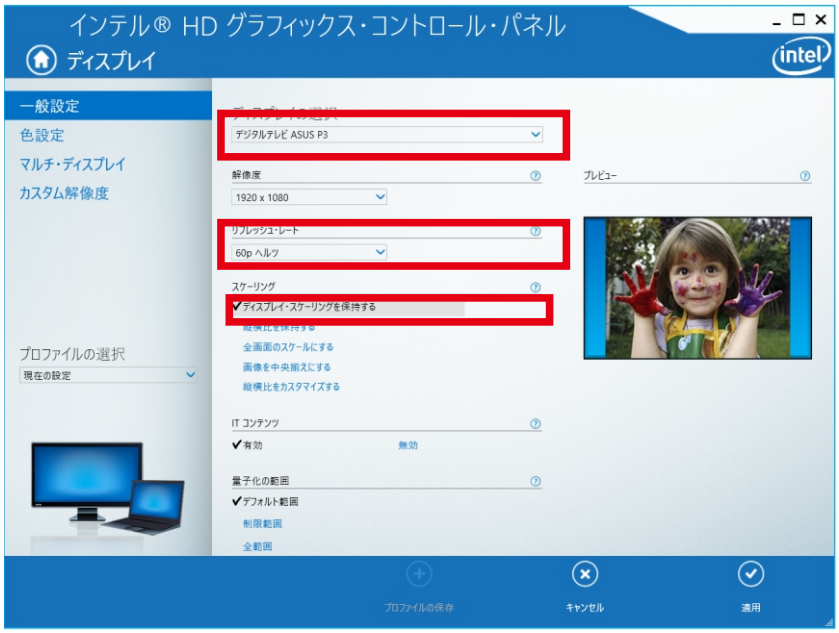
「マウス右クリック」>「インテルグラフィックスの設定」>「デイスプレイ」に進んでください。



1.「内蔵デイスプレイ」と「デジタルテレビ」の解像度が一致していることを確認してください。
2.「リフレッシュ・レート」が60ヘルツであることを確認し。
3.「デイスプレイ・スクリーンのズーム比率を保持する」「全画面のスケールにする」を選択してください。




「内蔵デイスプレイ」




「デジタルテレビ」

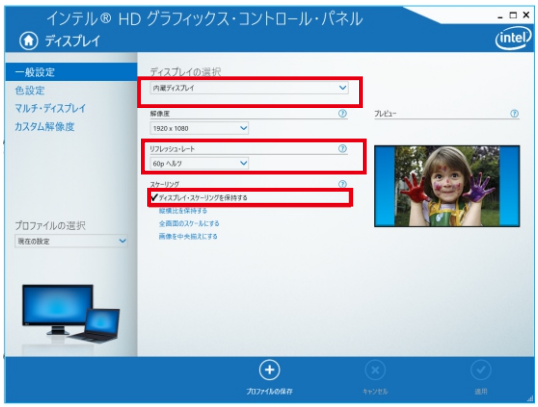
プロジェクターに上記の設定ができない場合、次の手順で
グラフィックの設定を行ってください。

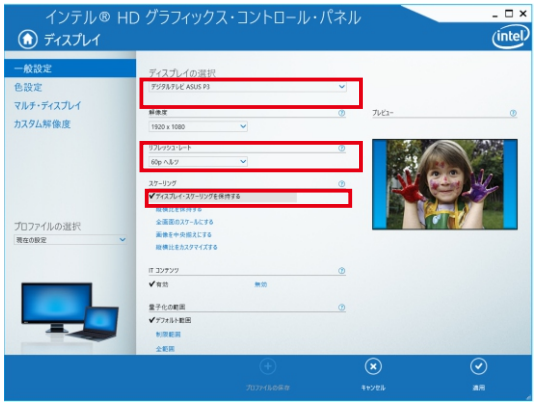
1. Windowsロゴキー＋Pを同時に押して、「複製」モードに切替えます。

2. 表示装置の「複製」モード状況を確認してください

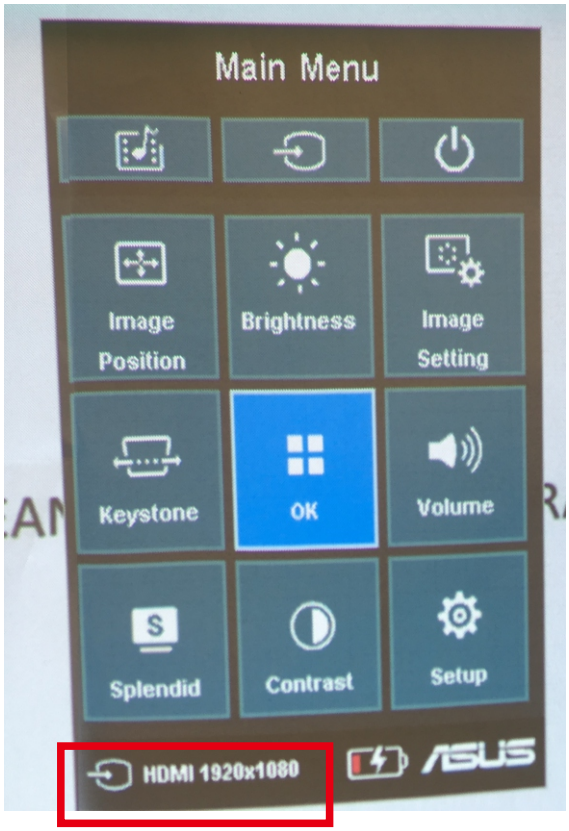
3.「マウス右クリック」>「インテルグラフィックスの設定」>
「デイスプレイ」に進んでください。

4.「内蔵デイスプレイ」と「デジタルテレビ」の解像度が一致していることを確認してください。「リフレッシュ・レート」が60ヘルツであることを確認し、「デイスプレイ・スクリーンのズーム比率を保持する」を選択してください。




5. 再度、外部デイスプレイと内蔵デイスプレイが同じ解像度かどうかを確認してください。 そして、GO Touchを使用してキャリブレーションを進めてください。



## 4. 言語設定

GO Touch では、4種類の言語が選択可能

## 5. タッチ感度

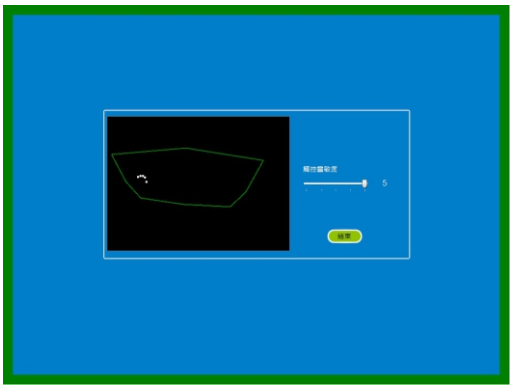
タッチの反応が速すぎる又は遅すぎる場合、タッチ感度の調整が可能です。使用環境(外部光源)の状況に併せて調整してください。

◎感度の標準プリセットは「3」に設定されております。
外部光源の強弱により、「1」-「5」に調整いただくことができます。

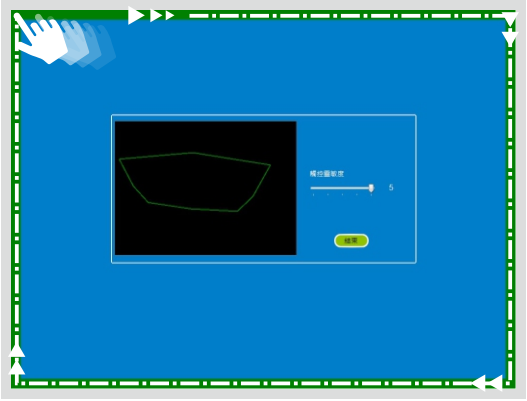
## 6. 設置環境チェック

まず、動作モード(ペンモードやタッチモード)を確認ください。
「設置環境チェック」を選ぶと、確認画面に移動します。
異物、強い外部光源、壁面の凹凸、反射等の投影干渉要因があれば、下記画面のように、白いポイントが表示されます。干渉要因をご確認頂き、状態の改善をお願いします。

6-1. 感度「5」の設定の際、干渉要因が何か一番わかりやすくなります。
まず「5」に調整頂き、干渉要因(白いポイント)があるがどうかを確認頂くことを推奨致します。
◎ペンモード：画面内部に白いポイントがあるかどうか確認頂き、干渉要因を改善してください。
◎タッチモード：InterProから発するレーザーと壁面は平行であるかどうか確認をお願いします。異物、強い外部光源、壁面の凹凸、反射等の投影干渉要因があれば、下記画面のように、白いポイントが表示されます。干渉要因をご確認頂き、状態の改善をお願いします。

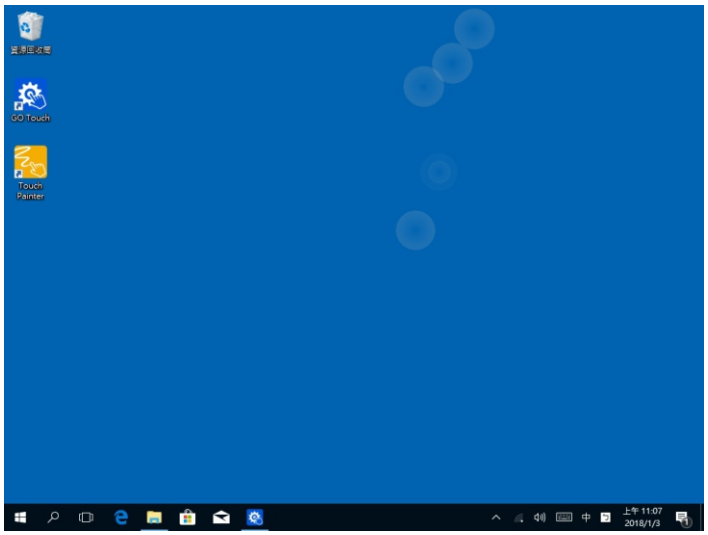


6-2. 干渉要因を改善できましたら、投影面の端にて動作モードに合わせてライトペン若しくは指先にてテストして頂き、問題なければ、「結束（終了）」をクリックし、終了してください。



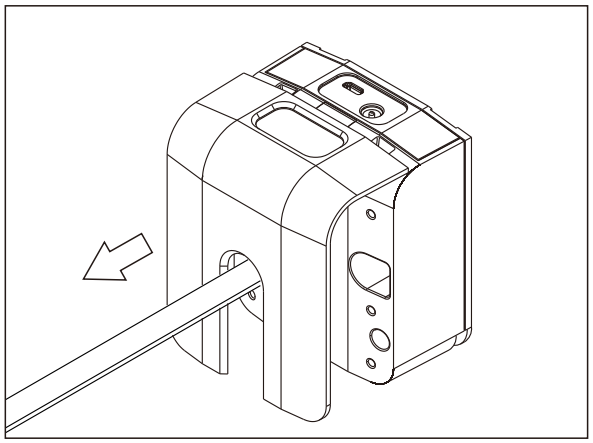
## レーザー調整ガイド

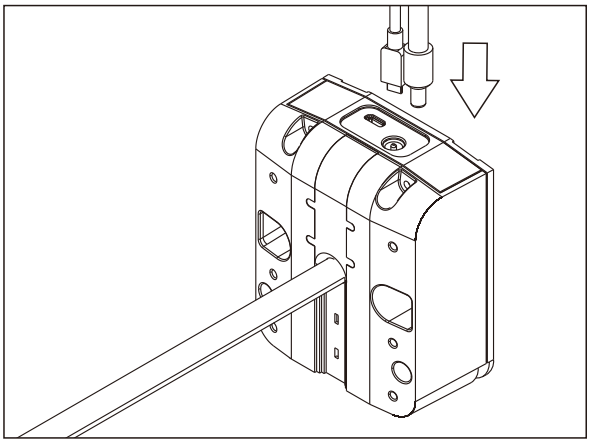
取付面の凹凸のために、或いはレーザーと壁は平行ではない場合、InterProの
タッチモードがうまく動作しない可能性がある。まずUSBケーブルを抜き、
次の手順でレーザーを調整してください。



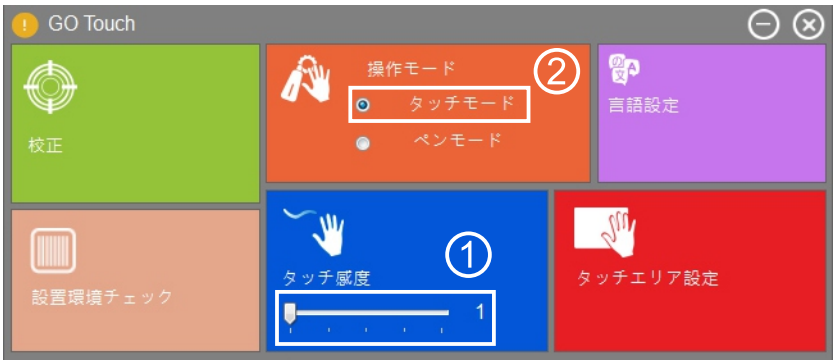

1. InterProとパソコンを接続していない状況で、「Go Touch」を開き、
「ペンモード」を選択してください。

2. カバーパネルを取り外し、電源ケーブルとUSBケーブルをInterPro に
接続してください。

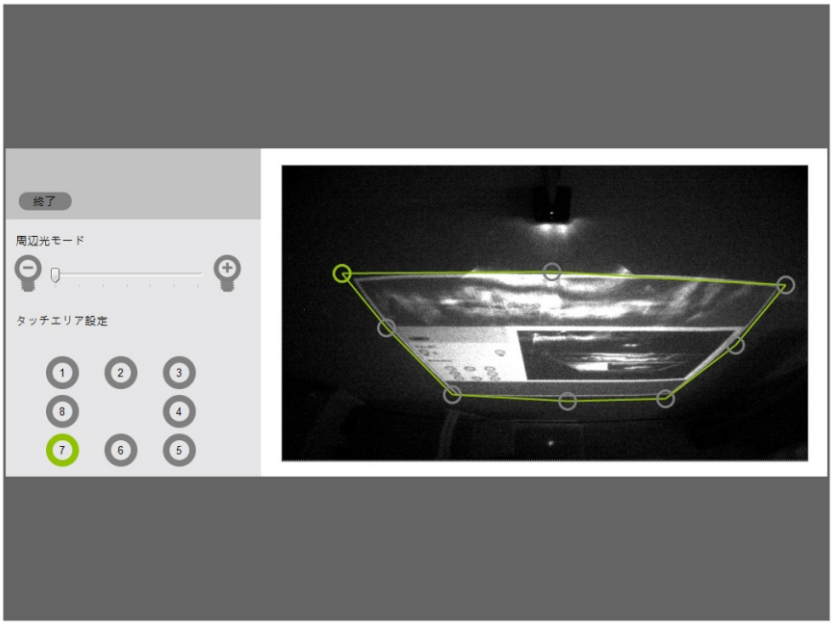




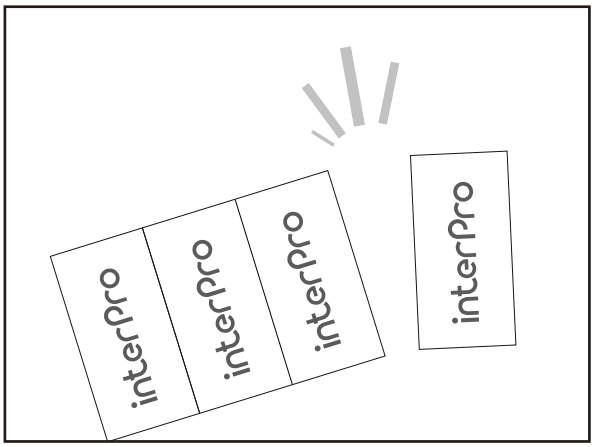
3. 再度「Go Touch」を開き、「タッチ感度」を「1」に調整して、
「タッチモード」を選択してください。

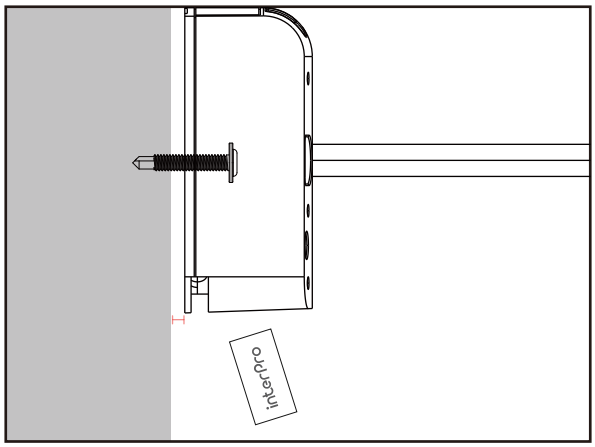



4. 「タッチエリア設定」をクリックし、「周辺光モード」を最低レベルに
調整し、レーザーと壁が平行かどうかを確認してください。

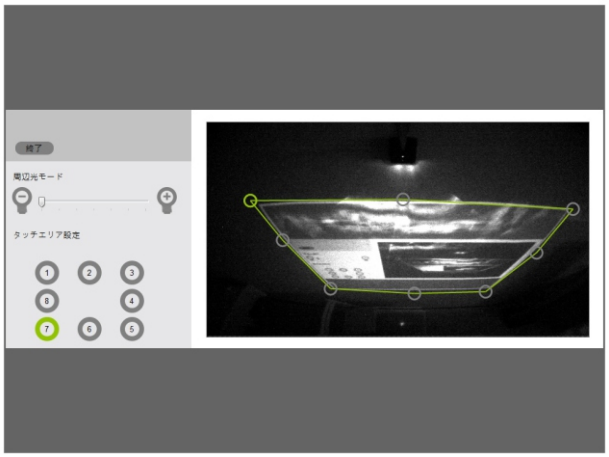


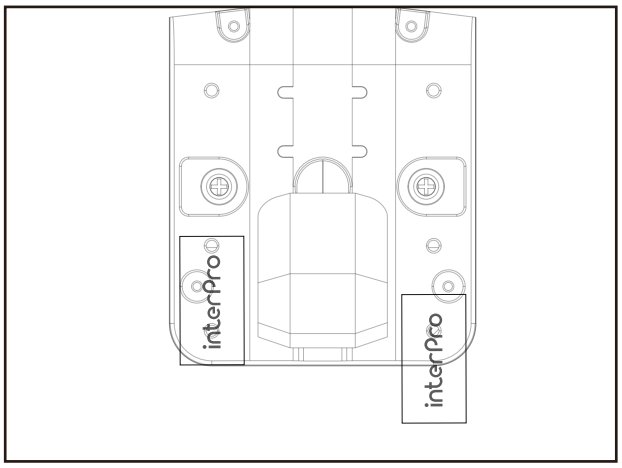

5.レーザーと壁が平行でない場合、製品を固定してるネジを緩め、付属の
「InterPro紙シート」を使用し、次頁に示す状況に応じて高さ調整を
行なってください。



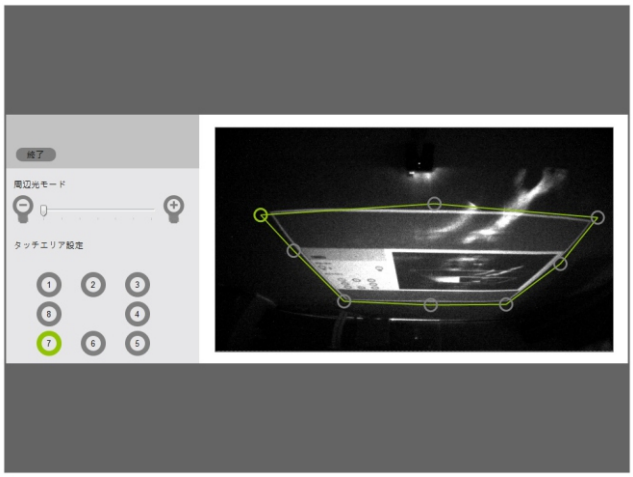
状況1：

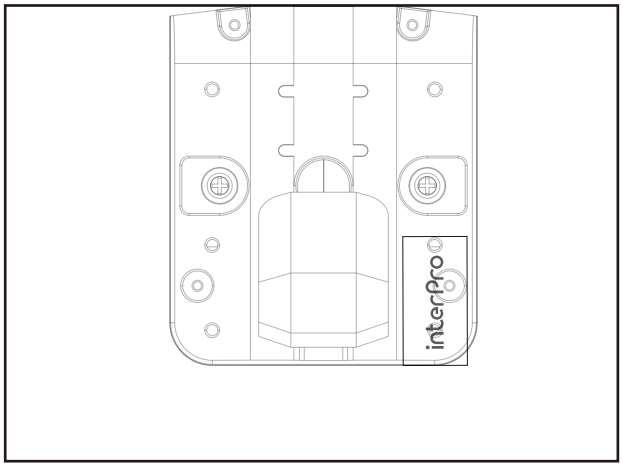



この図の状態は、製品が下に傾いている状態です。InterPro底辺の両角に
紙シートを数枚差し込み高さをつけてから、緩めたネジを再びきつく締めてください。

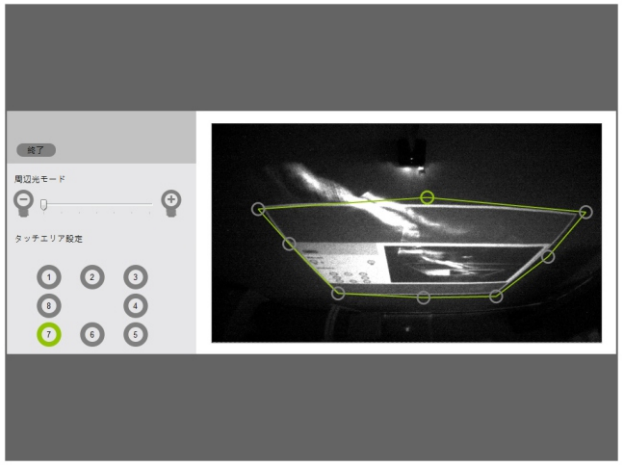
状況2：

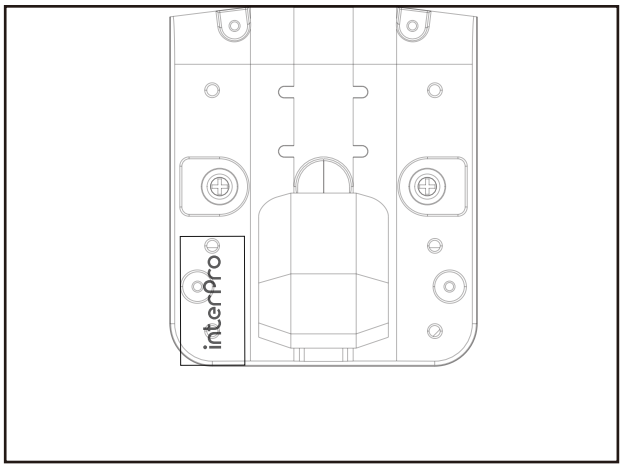



この図の状態は、製品が右に傾いた状態です。InterProの右下の角に紙シートを
数枚差し込み高さをつけてから、緩めたネジを再びきつく締めてください。

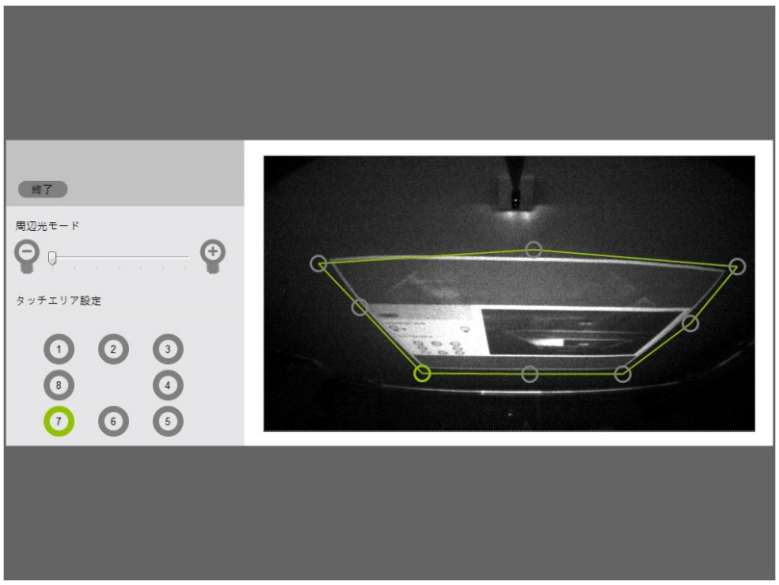
状況3：



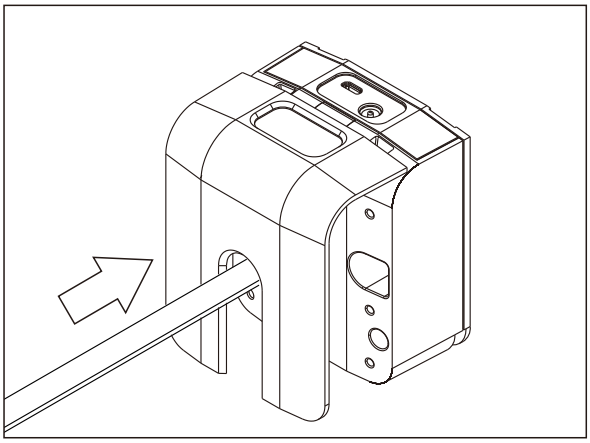



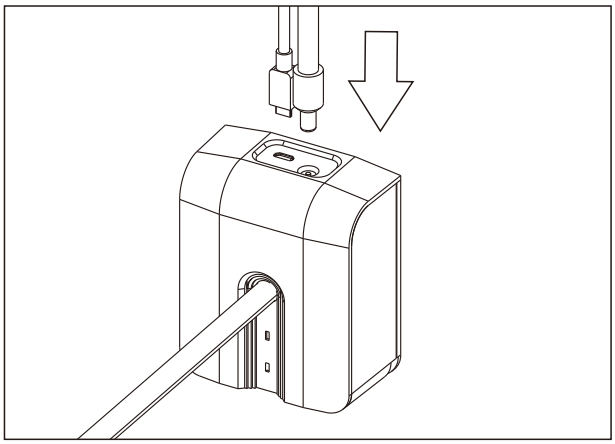

この図の状態は、製品が左に傾いた状態です。InterProの左下の角に紙シートを
数枚差し込み高さをつけてから、緩めたネジを再びきつく締めてください。

6. 調整後、ネジを締めて製品を固定し、再度レーザーと壁が平行かどうかを確認してください。レーザーは正常な状況なら、下の画面が表示されます。




7. カバーパネルを戻し、電源ケーブルとUSBケーブルをInterPro に接続してください。





8. 「Go Touch」をクリックし、「タッチ感度」を適切な値に調整してください。

# 4. アプリ Touch Painter のインストール

正常に動作することが可能なシステムの仕様をご確認ください。

OS：**Windows 7 (32bit/64bit) / 8 / 10 (Must be installed. NET Framework 4.0)**

プロセッサ：**Intel® Core™ i3** 以上

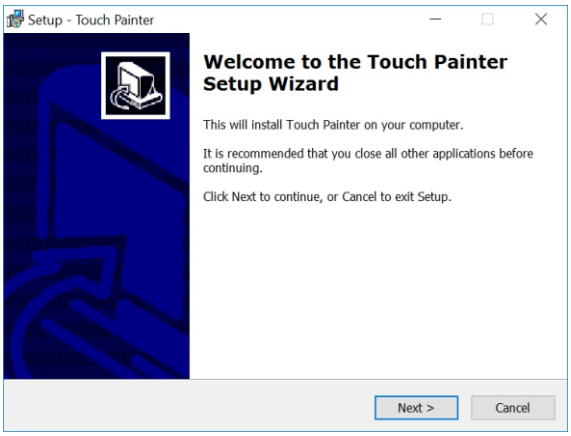
**RAM：4GB**以上

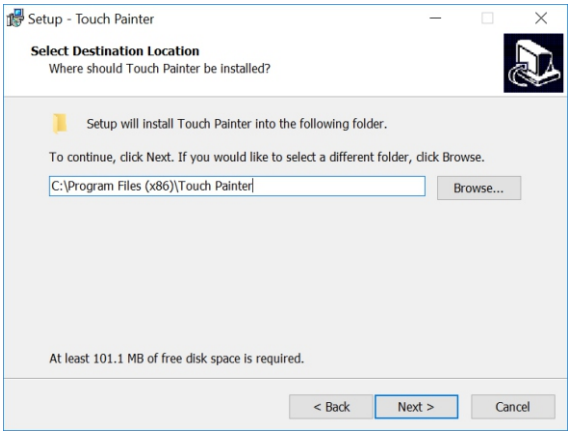
最小ハードディスク空き容量：**110MB**

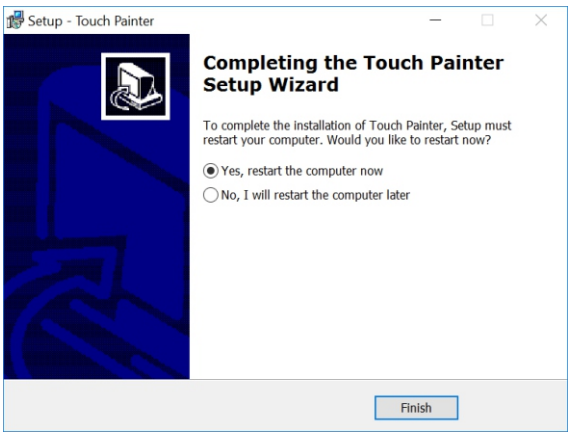
## Touch Painter インストールステップ

USBメモリを差込む。

1. Touch Painter Steup.exeをクリックすると、下記画面が出る。その後、「Next」をクリックする。
2. インストールディレクトリを選択し、「Next」をクリックする。
3. インストール中、しばらくして全プロセスが終了。
   インストールが完了となります。



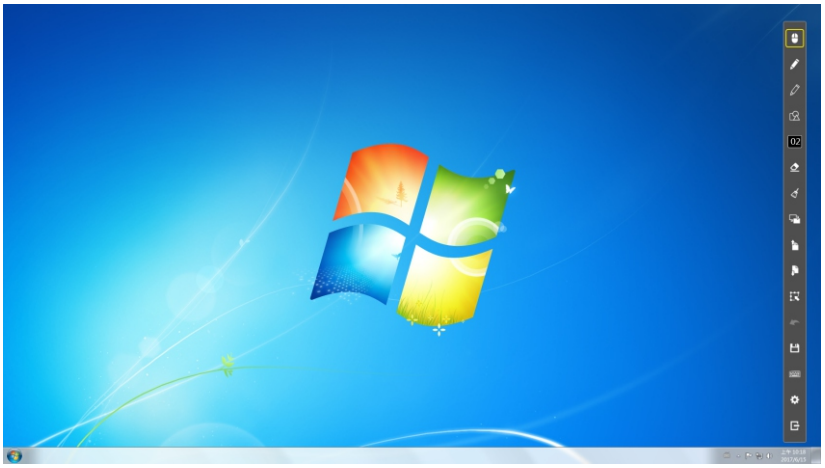



## Touch Painter のインターフェース

InterProとパソコンの間USBを接続して、Touch Painterをダブルクリックすると、
画面右側にツールバーが出ます。

## Touch Painter ツールバー

Touch Painterには専用のホワイトボードモードがあります。またExcel、PDF等を使用可能なモードもあります。モードにより若干違いがございますので、下記機能説明をご確認ください。



◎スクリーンボードモード

◎ホワイトボードモード

## ツールバー機能説明

「Touch Painter」アイコンをダブルクリックすると、右側にツールバーが出ます。下記画面のように、機能説明が表示されます。

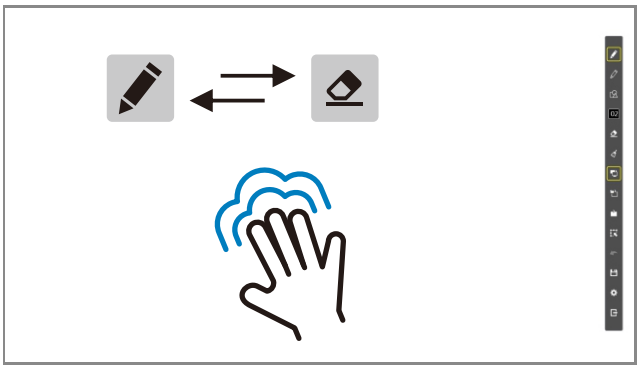
| 図示 | 名　前 | 機　能　説　明 |
|---|---|---|
| | ウインドウモード：マウス | マウス |
| | ペン(プリセット黒色) | ペン |
| | マーカ(プリセット黄色) | ハイライタ 半透明カラー |
| 02 | 太さ、色の選択 | 太さ、色の選択、18色 |
| | グラフ | 円形、正方形や三角形などを描きます |
| | 消しゴム | 描画を消去します |
| | フルスクリーン消します | 画面上全ての描画を消去します |
| | ホワイトボードモード：ウインドウモード切替 | ホワイトボードモードからウインドウモードに切替します |
| | ウインドウモード：ホワイトボードモードへ切替 | ウインドウモードからホワイトボードモードに切替します |
| | ウインドウモード：前のページ | 前のページを戻ります |
| | ウインドウモード：次のページ | ページを進みます |
| | 選択ツールバー | オブジェクトを選択します。選択するオブジェクトを移動、縮小、移動できます。 |
| | ホワイトボードモード：背景テンプレートのインポート | 選択するテンプレート/ファイルにをインポートします |
| | ホワイトボードモード：ホワイトボードのインポート | ホワイトボードに戻ります |
| | やり直す ( 戻る ) | 前のアクションに戻ります |
| | 保存 | 画面を保存します |
| | スクリーンキーボード | スクリーンキーボードを起用します |
| | ツールバー位置の設定 | ツールバーの位置をチェンジします |
| | 終了 | 終了 |

## マウス 右クリック機能

マウスモードで、同じ位置で2-3秒間、長押しした場合、右クリック機能が使用可能になります。

## ペン-消しゴム交換機能

ペン若しくは消しゴム状態で、3回若しくはそれ以上、画面をタッチをすると、ペン消しゴムに機能を相互交換可能となります。



◎もう一度タッチすると、ペンに戻ります。

# 5. トラブルシューティング

**Q** なぜ下記の図面が出てきて 、GO Touchは使用できないのでしょうか？

**A** 推測原因：想定される原因

1. USBの配線が正確にパソコンと接続されているか確認してください。
   InterProとパソコンの間で正確に接続されている必要があります。
2. コンピュータ内のプロパティーから「デバイスマネージャー　→　イメージングデバイス　→　TouchDriver+」を確認し、正しくインストールされているかどうか確認してください、その後、「ハードウエアスキャン変更」を実行してください。
3. 使用に際して本製品に付属のUSBケーブルを使用してください。もし更に長いUSBケーブルが必要であれば、本製品の購入された販売店にご連絡ください。
4. パソコンのUSB挿入箇所が故障している場合、製品のお問い合わせ窓口にご連絡ください。

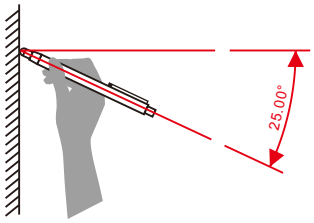
**Q** GO Touch画面調整モードで、正確に画面調整が動作しないのですが？

**A** されているのは『ペンモード』か『タッチモード』かをご確認ください。
またInterProの投影されている全面に感応識別装置が判別するのを妨げるものがないか、確認をお願いします。

## 動作モード

### ペンモードの場合

1. ライトペンのスイッチがONになっているか確認してください。
   また電池の残量が十分にあるか併せて確認をしてください。
2. ライトペン使用時は手の下の部分に影が出来ないよう注意してご使用ください。また、投影面から下に25度以上の角度にてご使用ください。（下記イラストをご参照ください。）
   もし感応識別装置がライトペンを識別しない場合、
   そのライトペンは使用できません。
   *手の下の部分に影が出来ないよう注意してご使用ください。
   *投影面から下に25度以上の角度にてご使用ください




*投影面から下に25度以上の角度にてご使用ください

*手の下の部分に影が出来ないよう注意してご使用ください。

### タッチモードの場合

1. 本の指にて画面調整表示を操作してください。また、使用している際に手がInterProの感応識別装置を覆ってしまっていないか、確認してください。
2. 『設置環境チェック』を点検し、InterProのレーザー光線がインストールするのに妥当かどうか確認してください。

**Q** なぜマウスポインターがライトペンや指の位置に見当たらないのでしょうか？

**A** 考えられる原因は以下です。

1. システムの調整が完了していません。調整の際に表示される画面の中心部をクリックしてマウスポインターの出現を確認してください。
2. プロジェクターの位置及び投影する距離を調整してみてください。
3. プロジェクターの解像度、画面サイズを調整してみてください。

**Q** なぜマウスポインターの動きが安定しないのですか？

**A** 作動環境の光線強度が強すぎることがマウスポインターの動きを妨害している想定されます。可能な限り光線強度が強すぎる環境を改善して頂き、
併せてタッチコントロールの感度を調整してください。

備考：本製品の情報及びGO Touch、Touch Painterのソフトウェア更新の情報がございますので、定期的に以下のウェブサイトにアクセスしてください。

http://interpro-jp.weebly.com